

「HRT(女性ホルモン補充療法)」
における
情報発信者に求められるリテラシーとは？
～雑誌編集者の立場から～

(株)マガジンハウス「クロワッサン」編集部

副編集長 越川典子

メノポーズカウンセラー

サプリメントアドバイザー

たったの2%しかHRTを受けていない日本で――

もし更年期女性にとって、「HRT」が
ファーストチョイスであったら！

しかし、未だに偏見が払拭されない結果、現実は・・・



骨粗鬆症 1、200万人
糖尿病 2、210万人
アルツハイマー 320万人

自己紹介代わりに・・・クロワッサン×HRT記事の流れ



大反響

1992年

- 女性医療という新しい視点
- HRT(ホルモン補充療法)の提案

2つの読者の声

「私の更年期の場合どうしたらいいのか」
「医療機関を紹介してほしい」
一方で「不自然である！」「許せない！」

しかし、2002年

- WHI報告でのHRTのミスリードが！



2008年

- アンチエイジング概念の定着
- バブル世代が更年期へ

自分が好き！

自分に投資！

きれいでいたい！

HRT＝アンチエイジングの一手段



2009年

読者の声

「友人にプレゼントした」
「美容目的で試したい」

医師の反発

「営業妨害だ！」

2012年

●「ホルモン」という言葉の認知が
ポジティブに変わりつつある

新編版 女性ホルモンがあなたの体と心を守ります。

クロワッサン
Special

croissant
特別編集
MAGAZINE HOUSE MOORE
定価780円

**40歳から意識したい、
女性ホルモンの力。**

最新情報を加えて、
「ホルモンケア」の決定版。

ホルモン補完療法は、5年・10年先のアンチエイジング
薬用ビタミンは、いつ、どのように取るか。
美容オイルは、肌と心と髪への、バランスをとります。
サプリメントの選び方、摂り方にはポイントがある。
閉経期のコレステロールは、女性ホルモンの減少を招く。

心と体、骨も脳もサポート、漢方は更年期女性と閉経後群
HIT年輪した奥山夏実が再び
女性健康はアンチエイジングの正
40代の女性を応援する、「大豆たんぱく」という新提案。
女性ホルモンが低下すると、ドライアイズになる。
女性ホルモンのことを考えずに
生きていける時代ではありません。



2011年
「ターザン」



2012年
「アンアン」



2013年
「アンアン」



2013年
「アンアン」

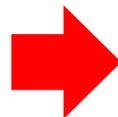


20代 30代女性へ、男性へも波及！

しかし、未だにHRT受診者数は伸び悩んでいる理由は・・・

偏見を生む土壌①感情

あるマンガのひとコマ
(「女性ホルモン剤で体内に
何かできる体質」というセリフ)



読者の判断

- やっぱりホルモン剤はこわい
- この人が間違っている
- 他の情報を集めてみよう

しかし・・・

1人の体験 = 100人の体験？
自分がほしい情報を選ぶ

偏見を生む土壌②数字のトリック

●2002年 アメリカの大規模調査

WHI(Women's Health Initiative)報告

「乳がんのリスクが26%増」報道のミスリード！



1万人に8人が11人に。

その意味は？ その背景は？

偏見を生む土壌③ヘルスリテラシー欠如

●OC(低用量ピル)を飲むと血栓症になる？

静脈血栓症リスクの比較

人/年間/10000人 (FDA、2012)

産褥(12週間).....40~65人

妊娠中.....5~20人

(妊娠12週までは高く、それ以降は非服用者と同じ)

OC服用者.....3~9人

(服用開始3ヶ月までは高く、それ以降は非服用者と同じ)

OC非服用者.....1~5人

偏見を生む土壌④経済の論理

●更年期女性の医療費で誰が潤うのか？

ドクターショッピング & 他科診療の結果

「年間434億円」の検査費が……

さらに、不要と思われる医療費は年間138億円

(西村周三 京大教授 医療経済学)



①医療従事者の不勉強

②医療制度の問題(更年期医療はお金にならない)

③薬価の安さ



誰のための医療か？

偏見を生む土壌⑤社会的背景

●ジェンダー・ギャップ指数

「世界経済フォーラム」の

グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書

2012年 日本101位/135ヶ国中！！！！

※国会議員の83%が男性(2013年)

※100人以上の企業の女性管理職4、9%(2009年)



女性の地位は高くなったのか？

情報発信側のバイアスのかかり方を知ろう！

- 編集者（記者）が理解できないことは報道できない（AGEsの例）
- 情報の正確さ<情報の新しさ、面白さ
- その情報は、誰のためか？ 誰を利するのか？
- はじめにストーリーが設定されていないか？（予防接種、有機農法・・・）
- 報道する義務もある（エビデンスはどこまで求めるか）

「科学の真理とは、自然と人間の協同作品である」

「科学の方法」(中谷宇吉郎) 岩波新書より

「あいまいな正確さ」を担保するものは？



エビデンスも必要だけれど・・・

キーは「人」

- 誰が企画するか？
- 誰に取材するか？
- どんな立場で記事にするか？

女性にとって
有益かどうか

情報のチェックポイント

